



倒産集計

(28年2月の繊維関連企業の倒産)

株式会社 信用交換所京都本社

負債総額は7カ月ぶりに100億円台に

▼全国▲発生件数=40件

負債額=102億4400万円

2016年(平成28年)2月の全国繊維業者の倒産(負債1000万円以上=整理・内整理含む)は40件、前月比で4件(9.1%)減少、前年同月比では7件(21.2%)の増加となった。

負債額は102億4400万円で、前月比18億7600万円(22.4%)、前年同月比17億2700万円(20.3%)それぞれ増加。なお、単月で負債額100億円を超えるのは、昨年7月(110億円)以来、7カ月ぶりとなった。

負債額10億円以上の大型倒産は㈱高松天満屋(高松市、百貨店、負債額17億円)と㈱光和創芸(実質本社:東京都渋谷区、婦人服製造小売、負債額15億円)の2社。5億円以上は㈱マルシヨウ(千葉県流山市、婦人インナーほか小売、負債額8億円)、マーティ商事㈱(岐阜市、カジュアルウェア製造、負債額5億900万円)、ニシザワテキスタイル㈱(東京都墨田区、ニット製品製造、負債額5億800万円)、㈱北尾織物匠(京都市、帯地製造、負債額5億円)の4社となり、これまで負債額5億円以下の比較的小規模の小口倒産が続いていたが、一転して同5億円以上の倒産が目立つ月となった。

経済動向は年初から、株価下落、原油安など景気の足かせとなる要因が市場を覆うなか、日銀が初のマイナス金利導入に踏み切ったが、さらなる追加金融緩和策がどこまで景気の底上げの効果に期待ができるのか、懐疑的な見方が払拭出来ず、暫くは動静を見ていく必要があるようだ。

小売市場の動向は、中国の春節で日本に観光に訪れた中国人の「爆買い」や一部商材の好調が全体を牽引して百貨店、スーパーともに前年実績を上回る売り上げを計上したものの、一方で衣料品や寝装・寝具等の繊維関連は、今冬前半の暖冬が影響し、総じて低調な動きにあることから、今後の決済面など、手元の資金繰りがタイトになる企業が増加する可能性がある。

業種別では、「小売商」が12件、「紳士・婦人・子供服・被服製造卸」が11件で、両業種で23件となり、全体の6割弱を占める。以下、「ニット製品・洋品雑貨製造卸」8件、「染色整理・特殊加工」「その他」各3件、「呉服・和装製品製造卸」2件、「織物製造」1件となった。

原因別では、「業績ギリ貧」が36件で全体の9割(90.0%)を占め、以下「業況急変」3件、「資金力薄弱」1件となった。

▼京都▲ 発生件数=2件(前年同月0件) 負債額=7億円(前年同月0円)

▼滋賀▲ 発生件数=1件(前年同月0件) 負債額=2000万円(前年同月0円)

28年2月の京滋管内の倒産企業一覧

会社名	所在地	業種	倒産態様(掲載日)
㈱コズミックフロウ	京都市中京区	婦人服・同服地卸	破産申請へ(2.3)
㈱北尾織物匠	京都市上京区	帯地ほか製造	破産手続開始(2.17)
草戸庵	滋賀県近江八幡市	法衣ほか卸小売	破産手続開始(2.10)